

「石西礁湖自然再生事業環境省事業実施計画」改定の検討について

環境省那覇自然環境事務所

1. 内容

平成 20 年 6 月に策定した「石西礁湖自然再生事業環境省事業実施計画」について、策定から 10 年が経過しており、これまでの事業の結果や協議会による 10 年間の評価・検証、平成 28 年の大規模白化現象などのサンゴ礁をとりまく状況を踏まえ、環境省事業実施計画改定を検討するもの

2. 検討の進め方

次の項目を主な論点として、有識者による検討会を 3 回程度開催し、改定に向けた検討を進める。

<論点>

- ・今後のサンゴ群集修復事業の実施のあり方について
- ・サンゴの回復力の評価手法について
- ・今後のモニタリング調査のあり方について
- ・モニタリング結果を踏まえた、陸源負荷対策の評価・検証及び対策促進の戦略について
- ・他機関・団体の実施事業との役割分担

<検討会>

- ・回数：合計 3 回（9 月、11 月、1 月を想定）
- ・有識者：9 名程度を想定

<スケジュール>

平成 31 年 2 月（予定） 第 24 回協議会において改定案を説明し、意見聴取
平成 31 年 6 月（予定） 第 25 回協議会において承認

※現実施計画の承認までの経過

平成 20 年 3 月 第 7 回協議会 実施計画（案）説明
平成 20 年 6 月 第 8 回協議会 実施計画承認

(参考)「石西礁湖自然再生事業環境省事業実施計画」概要

○自然再生の目的

以下を目的として、概ね5年を目処にサンゴ礁生態系の現状や事業の進捗状況等を評価し、見直していくこととする。

- ・モニタリング調査等により、サンゴ礁生態系の現状やその変動等を把握する。
- ・サンゴ群集の修復等を通じサンゴ礁生態系の回復を図る。
- ・全体構想の目標達成に向けた事業の評価手法を確立する。
- ・地域住民、産業従事者等が石西礁湖におけるサンゴ礁生態系のしくみを学び、自然再生の取組に参加することで、その効果や意義について学ぶ機会を提供する。

○事業実施計画

1. モニタリング調査
 - ①サンゴ群集のモニタリング調査
 - ②攪乱要因のモニタリング調査
 - ③常時モニタリングシステムによる海況観測
 - ④サンゴ被害等の情報募集（一般参加型）
2. サンゴ群集修復事業
 - ①有性生殖法を用いたサンゴ移植
 - ②より有効なサンゴ礁修復技術の手法検討
3. オニヒトデ駆除事業
 - ①オニヒトデ分布調査
 - ②オニヒトデ駆除
4. 評価手法の確立
 - ①展開すべき取組の各項目における目標の設定
 - ②評価手法の検討
5. 陸域対策との連携
 - ①関係行政機関等への働きかけ
 - ②陸域対策の重要性の周知
6. 利用に関する負荷対策との連携
7. 意識の向上・広報啓発
 - ①自然観察会の開催
 - ②学校教育との連携
 - ③持続可能な産業・ライフスタイルの推進